

教材3 (4)の解答

言葉の知識

年

組

番

名前

ステップ1

から、チャレンジしてみよう。

ステップ1

「言葉の単位」(意味や発音により分けられる言葉の「まとまり」のことは5つある。次の(1)～(5)の言葉の単位についての説明をあとの語群ア～エから選び、記号で答えなさい。

(1) 「文章」

オ

(2) 「段落」

イ

(3) 「文」

エ

(4) 「文節」

ウ

(5) 「単語」

ア

語群

ア 言葉の意味を壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。それだけで使える言葉としては最小の単位。
イ 文章を内容によって分けたひとまとまり。

ウ 発音や意味のうえで不自然にならないように、できるだけ短く区切ったまとまり。

エ ひとまとまりの事柄や考えを表した、ひと続きの言葉。書き言葉では、文の終わりに句点。()が付く。

オ 文が集まって、全体でまとまった内容を表したものの。

ステップ2

「文の成分」について、次の文章中(A)～(E)にあてはまる言葉をあとの語群ア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

文を組み立てる部分となるそれぞれの文節が果たす役割を「文の成分」といい、五種類ある。「誰が、何が」を表す(A)、文の終わりにあることが多く、「どうする・どんなだ・ある・いる・ない・何だ」を表す(B)、他の文節を詳しく述べる働きのある(C)、文と文、言葉をつなぐ働きのある(D)、文の中で、他の文節とは独立した働きのある(E)がある。

A

エ

B

イ

C

ア

D

オ

E

ウ

語群

ア 修飾語

イ 述語

ウ 独立語

エ 主語

オ 接続語

ステップ3

次の文節に分かれている文について、あとの問いに答えましょう。

私は バラの 花を 彼に あげた。

(1) 述語はどれですか。一文節で答えましょう。

あげた

(2) 主語はどれですか。一文節で答えましょう。

私は

(3) 述語の文節を修飾している文節(修飾語)を二つ答えましょう。

花を

彼に

ステップ4

次の各文を文節に分け、区切り目に「/」を書きましよう。また、主語の文節には――を、述語の文節には――を引きましよう。

(1) 暑く / なって / きたので、 / 私は / 半そでに / 着がえた。

(2) 彼女は、 / 今年の / 市大会で / 優勝した / バスケットボール部の / 部長だ。

(3) この / 本の / 中には、 / 世界中の / 昔話が / たくさん / ある。

ステップ5

次の各文を単語に分け、区切り目に「/」を書きましよう。

(1) 山 / の / 上 / に / 白い / 家 / が / ある。

(2) ドア / の / 向こう / から / 、フルート / の / 美しい / 音色 / が / 聞こえる。

(3) 部屋 / の / 窓 / から / 、美しい / 山 / が / はっきり / 見える。